

# ひやく しゃく かん とう 百尺竿頭

札幌市青少年山の家便り  
第 12 号  
平成 23 年 7 月 1 日 発行

札幌市青少年山の家  
野外教育専門員 増子 義仁

## ～ 野外活動における野外炊事の役割 ～

キャンプに行ったらみんなで焼き肉やBBQ（バーベキュー）！というのは定番ですね。外で食べるご飯というのはなぜか最高で、アウトドアの醍醐味の一つでもあると思います。

札幌市青少年山の家でも、5月～10月の期間に様々なメニューの野外炊事を提供しており、市内小学校5年生の宿泊学習をはじめ、多くの団体のみなさんに野外炊事お楽しみいただいています。

当館では、野外炊事を楽しんでいただくのはもちろんですが、野外教育施設として野外炊事に下記のような教育的な価値があると考えています。



- 1.協働体験** 調理、かまど、用具という3つの係に分かれてグループで協力して働くという協働体験を経験することで、協調性が養われます。
- 2.非日常体験** 野外で薪を割って火を起こして炊事を行う、という普段ほとんど体験することがない非日常体験は、子どもたちのワクワクドキドキ感を促し、活動意欲を膨らませます。
- 3.必然性** 『働かざる者食うべからず！』の体現。自分がやらねば食べられないという状況におかれることで活動に必然性が生まれるとともに、グループの中で自分の役割が必要なのだ！という有用感、帰属意識を生み出すこととなります。
- 4.達成感・成就感** 『おいしくできた』という成功体験が次の活動の意欲につながります。 など

### 【係の人数分け適切度】

適切度	調理	かまど	用具	計
◎	3	3	2	8
○	3	3	3	9
○	3	2	2	7
△	2	2	2	6
△	4	3	3	10
▼	4	4	4	12
▼	4	4	3	11

『たかが野外炊事！されど野外炊事！』他にも色々な価値がありますので、是非指導する際にはこのような事を意識して指導にあたっていただきたいと思います。

ですが、活動の際グループの人数が多すぎると仕事が見つけられなくなりさぼってしまったり、少な過ぎると負荷が高すぎたりして価値が半減してしまいますので、左表を参考にしていただければと思います。

それでは『 Let's 野外炊事 !! 』

**[事業報告] 第2回合同下見会  
2011年6月18日(土)実施**

ご利用いただく札幌市内の小学校・中学校の引率者を対象に第2回合同下見会が実施されました。

山の家の利用についての説明のほか、ハイキングなどの活動を体験いただきました。

今回は、41校(107名)の先生方に参加をいただき、参加者からは「下見でイメージがわきました」、「安心して当日を迎えることができます」等、有意義な時間となった様子です。



**合同下見会は今年度、第3回(8月実施)と第4回(24年1月)に実施予定です。**

**[5月の利用者アンケートより]**

○当日のみならず、事前の出前授業や下見の同行など、親切に対応してくださいました。

○補助的指導者の入園料や、料金後納時の振込手数料が掛らなくなり、ありがたいです。

▲野外炊事で、生徒が自主的に調べたり考えたりという面で考えると、使う食材や調理手順にもう少し自由度があると良い。

→食中毒の防止等の観点から食材の持ち込みや混在は御遠慮いただいておりますが、野外炊事による価値を高められるよう努めて参ります。

▲入館後の打ち合わせや領収書発行の時間が長く感じる。

→可能な限り事前の段階で確認を済ませ、当日にお時間をいただかないように努めます。

**【植物豆知識⑨：植物のネーミング】**

植物に興味を持つためには色々な方法があり、楽しみ方も様々ですが、子どもたちに興味を持たせる場合には『名前の由来』というきっかけを使うことがとても効果的です。写真はネジバナですが、その名の通り花が螺旋状にねじれていて、どんな子どもでも一度覚えたらもう忘れない、となります。この時期には『オカトラノオ』や『セイヨウノコギリソウ』など見た目の通りという花がありますので、是非調べてみてください。



『ネジバナ』



発行者：札幌市青少年山の家指定管理者 財)札幌市青少年女性活動協会  
住所 〒005-0862 札幌市南区滝野247番地  
電話 011-591-0303 FAX 011-591-0394  
URL <http://www.sapporo-yamanoie.jp>